

トール・ロイヤル (Tor Royal)の歴史

トール・ロイヤル・ファーム(Tor Royal Farm) は、英国の歴史的建造物としてグレード II*に指定されており、壁に囲まれた中庭は鐘楼を特徴としています。

トール・ロイヤル・ファームの歴史は、1785年にトマス・ティアウィット卿 (Sir Thomas Tyrwhitt) がダートムーア(Dartmoor)の荒野を農地として開拓することを計画し、その手始めとしてピート・コット/ホワイトワークス (Peat Cott/Whiteworks)という道に自分の家を建てたことに始まります。ブルーム・オブ・フェザーズ・イン(Plume of Feathers Inn)を始め、トール・ロイヤルの周辺に今も残る数多くの建物は、その当時の農業労働者、馬手、炭鉱労働者のために建てられたものです。エセックス州 (Essex)の教区牧師の息子として生まれたティアウィット卿は、皇太子プリンス・オブ・ウェールズ(Prince of Wales、後の国王ジョージ四世)の秘書を務めた後、1786年に公領ダッチー・オブ・コーンウォール(Duchy of Cornwall)の監査役に指名され、その後1812年にアッシャー黒杖官となりました。



お部屋とご宿泊代

トール・ロイヤル(Tor Royal)では、アンティークな家具と装飾を施したダブルルーム、ツインルームなど各種お部屋をご用意しております。お部屋は全てシャワーまたはバス付きとなっており、お部屋の清掃やベッドメイクなどは毎日させていただきます。トール・ロイヤルは私どもの住まいでもあります。スタッフが常に待機しておりますので、何かご入り用の際はいつでもお気軽にお申し付けください。

シャーロック (Sherlock) - 2階。ツイン。バス、シャワー付。TV、Wi-Fi。庭園とダートムーア (Dartmoor)の壮大な景色に臨んだ部屋。 **宿泊 1 日目: £100、2 日目から: 1 泊 £80**

リリー (Lilly) - 3階。標準サイズダブルベッド。クリーム色を主体にした安らぎのある装飾。シャワー (爽快パワフルシャワー!)。TV、Wi-Fi。 **宿泊 1 日目: £85、2 日目から: 1 泊 £70**

ウォレス (Wallace) - 3階。スーパーキングサイズベッド。壁 2面に窓があるロマンチックな部屋。バス、シャワー付 (爽快パワフルシャワー!)。TV、Wi-Fi。同部屋には、ご年配(気のお若い)方やお子様用に折り畳み式ベッドをご用意できます。 **宿泊 1 日目: £100、2 日目から: 1 泊 £80**

ティアウィット (Tyrwhitt) - 2階 (シャワー付きの浴室まで数段階があります)。標準サイズダブルベッド。浴室別。TV、Wi-Fi。ロンドンのクラリッジホテルのアールデコ調装飾を再現。アールデコ調に仕上げた床から天井まである窓から見える「かつてのサンクンガーデン」(沈床園)は、いずれまた美しい庭園となる日がやって来るでしょう。(同部屋は中庭に出やすいので、お客様の愛犬とのご宿泊が可能です。同部屋に限ります。) **宿泊第 1 日目: £80、2 日目から: 1 泊 £70** 犬: 1 泊 £5

中庭を臨むシングルルーム - チャーミングな小部屋。Wi-Fiあり、TVなし。バス、シャワー付。 **1 泊 £55**

お部屋は全て、清掃やベッドメイクなど毎日させていただきます。

お夕食は、ご希望によりお一人様£20 から承ります。

価格は英国の税制に従って、全て付加価値税込みとなっております。トール・ロイヤルは、ダートムーアやデボン州 (Devon) の観光、レジャーの拠点として最適であり、さまざまなアクティビティやアトラクションを幅広く提供しております。

お出かけ情報 - 観光・体験スポット

ハイキング - トール・ロイヤル (Tor Royal) から広大なダートムーア (Dartmoor) を直接歩くことができます。ルートはシープストール (Sheepstor) に向かって自転車道に沿って歩き、ウォークハンプトン (Walkhampton) に向かって今は廃止された鉄道に沿って歩くなど。または地図とコンパスを使って複数のトールを散策するのもよいでしょう。ハイキングツアーも行っていますので、詳しくは **プリンスタウン (Princetown) のビジターセンター (Visitor Centre in Princetown)** までお問い合わせください。

乗馬 - ホーストレッキングのご予約は **トール・ロイヤルのきゅう舎 (Tor Royal Stables)** で承っております。乗馬サービスは、トール・ロイヤルにお泊りのお客様のみに提供しております。既にご経験のある方も初心者の方もお気軽にご相談ください。当きゅう舎の美しい馬やポニーに乗って、楽しい乗馬コースを適宜ご用意いたします。

サイクリング - ハイキングと同じように、ダートムーアは多数の自転車道、乗馬道が通っていますが、これらの公道以外の場所でのサイクリングや乗馬はご遠慮ください。むやみに泥炭地などを荒らしてしまうと、その回復に何年もかかってしまいます。ご持参の自転車は当方できちんと保管いたします。また、レンタルもプリンスタウンのフォックス・トール・カフェ (Fox Tor Café) で行っております。詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.princetowncyclehire.co.uk>

ダートムーア・エレクトリック・バイシクルズ (Dartmoor Electric Bicycles) では、スイス製フライヤーの最新型電動自転車です。ダートムーアを散策するツアーを提供しています。電動自転車なら、悪名高いダートムーアの急坂も楽に登れて、サイクリングがますます楽しくなることでしょう。トール・ロイヤルも含め、ツアーの出発点はさまざま。ダートムーアの知識に明るいツアーガイドが、静かな田舎道やあまり知られていない奥まった場所、歴史的に興味深い場所や静かなピクニックスポットなどをご案内いたします。詳しくはこちらをご覧ください。 www.highdart.co.uk/electric-bikes

カヌーイング/カヤッキング - ダート川 (River Dart) 沿いで大人気のレジャースポーツです。



プリンスタウン - 見所たくさんあるプリンスタウン。特に **ダートムーア刑務所博物館 (Dartmoor Prison Museum)** は有名で、おもしろい收藏品や刑務所まつわる話などであふれています。また、**ハイ・ムーアランド・ビジター・センター (High Moorland Visitor Centre)** では、ダートムーアの簡単な歴史の流れや宿泊施設などに関する情報を提供しています。さらに

プリンスタウン・クラフト・センター(Princetown Craft Centre)では、さまざまな芸術品や工芸品を扱っており、道路の向かい側にある鍛冶場をのぞいてみるのもおもしろいでしょう。そして、お土産にはダートムーア醸造所(Dartmoor Brewery)の「ジェイル・エール」(Jail Ale)も忘れずにお持ち帰りください。

ミニチュア・ポニー・センター(Miniature Pony Centre)は、お子様からご年配の方まで大変人気のあるスポットです。同センターで楽しい一日をお過ごしください。詳細はこちら。 www.miniatureponycentre.com

ダートムーアとその周辺には**歴史が残る建物や庭園**が数多くあります。イェルバートン(Yelverton)のバックランド修道院(Buckland Abbey)や コーンウォール州(Cornwall)との境にあるコティール (Cotehele)、プリンプトン(Plympton)のサルトラムハウス (Saltram House) などに是非お立ち寄りください。

エドワード王時代の農場の風景を再現したモアウェラム・キー(Morwelham Quay) は、是非とも行っていただきたいスポットです。また、同様に知名な、古代スズ鉱区として栄えた町、タヴィストック(Tavistock)とアッシュバートン(Ashburton)も散策されてはいかがでしょうか。

骨董品店が数多くあるプリマス(Plymouth)のバービカン(Barbican)は、世界的に有名なプリマスジンの蒸留所(Plymouth Gin Distillery)や美しいハーバーもあり、行ってみる価値のあるスポットです。バービカンから少し歩くとホー(Hoe)という場所に辿り着きます。このホーで、エリザベス一世時代、艦隊司令官だったサー・フランシス・ドレーク(Sir Francis Drake) が、接近してくる**スペインの無敵艦隊(Spanish Armada)**にも微動だにせず、当時でいうボーリングのゲームをした、という言い伝えがあります。また、ホーには**スミートンズ・タワー(Smeatons Tower)**という建て直された灯台もあります。

バービカンからは、造船所のそばを通過して海に出る**ボートトリップ**のサービスがあります。

外食 - ダートムーアの周辺には、グルメなレストランが数多くあり、ガルワージー(Gulworthy)の**ホーン・オブ・プレントイ(Horn of Plenty)**、英国で知名のシェフ**ピーター・ゴートン(Peter Gorton)**がタヴィストックで再開したレストラン、タヴィストックならではのローカルレストラン**テイラーズ(Taylor's)**、プリマスの**ロイヤル・ウィリアム・ヤード(Royal William Yard)**にはこれまた英国で有名なシェフ**ヒュー・フェーンリー・ウィットニングストール(Hugh Fearnley-Whittingstall)**が経営しているレストランなど、例を挙げればきりがありません。さらに英国ならではのバブやちょっと風変わりなカフェも数多くあり、例えばプリンスタウンを散策した後は、**フォックス・トール・カフェ(Fox Tor Café)**でコーヒーとおいしいケーキを是非おためしください。

美しい森林に囲まれた約 33 エーカーにわたる**ダートムーア・ズー(Dartmoor Zoo)**。息を呑むような美しい田園風景を臨む、ユニークな家族経営のこの動物園では、素晴らしい動物が勢ぞろいしているほか、英国西南地方で野生猫の種類の数が多いことを誇っています。